

2025 年度共通教育センターFD 活動報告書

2026/2/25

共通教育センター

近藤・伊藤(文責)

共通教育センターでは、全学の FD 方針に基づき、以下の取り組みを実施した。

1. ICT スキル科目群に関する FD 活動

【実施内容】

ICT リテラシーの適切な運営

2025 年度より ICT リテラシー A・B に代わり「ICT リテラシー」を開講した。PC 実習室廃止に伴って学生の BYOD 端末活用のため、内容も大幅に変更して実施した。今年度は初年度の実施ということもあり、授業期間中や終了後に教員にアンケートを取るなどして対応した。

授業期間中の教員アンケートでは、クラス間の進捗やテキスト使用状況について調査を行い、クラス間でかなりの差が出ていることがわかった。このため、2026 年度の授業計画を変更することになった。

授業期間後の教員アンケートでは、以下の点について報告があった。

- ・ネットワーク環境についてオフィスアプリダウンロード時に支障があった。
- ・教室環境が悪い（狭い、プロジェクターが設置されていない、マイクがない等）
- ・推奨仕様を下回る PC を持参する学生がいる。
- ・PC の個人設定により操作方法が異なり、指導に手間取ってしまう。
- ・学生がタッチパッドの操作に慣れていない。
- ・電源アダプターを持参せず、充電切れになってしまう。

学生からの反応については、対面で 6 名の学生に対してインタビューを行った。インタビュー結果では、ICT リテラシーに関して、

- ・Word/Excel/PowerPoint の使い方を学べた（4 名）
- ・他の授業のレポート作成などに活用できた（2 名）

という感想であった。また、

- ・少し進度が早く、ついていけない部分があった。スライドをもう少し大きくしてほしい。
- ・ワード、パワポをどうやってしたらできるかを知れてよかった。今まであまりやったことがなかった
- ・高校のときより詳しく学べた。何も見ずに操作できるようになった。高校のときもやっていた。
- ・ワード、エクセル、パワポの基礎を学べた。自分で資料を作れるようになった。高校のときもやっていたから最初は大変だった。
- ・パワポについて教わったこと。高校では google chrome でワードを利用していたが、今まで使ったことがなかった。新しいことを知れた。授業であまり活用の機会がないが良かった。

2025 年度共通教育センターFD 活動報告書

などの意見があった。これらについても 2026 年度の授業実施において対応する。

初年次科目の見直し（データサイエンス、コンピューター基礎理論）

2025 年度入学生より高等学校新課程の履修者となったため、ICT スキル科目の内容について見直しを行った。

データサイエンスについては、生成型 AI についての内容を増やしたり、実際に利用する演習などを取り入れた。

コンピューター基礎理論については、学生が関心を持って取り組めるように PC 演習を増やした。
(2025 年度紀要で関連する記事を掲載予定)

【自己評価】

ICT リテラシーについては新しい内容や BYOD 化への対応が中心となった。以前よりも受講者の学習意欲が高まり、結果として単位認定状況も向上した。次年度はより一層の内容の充実と、学生の専門性に応じた対応を進めていきたい。

データサイエンスの内容については生成 AI の活用など、軽微な変更にとどまった。次年度は学生の状況を踏まえて現実に即した内容へと検討する。

2. 言語スキル科目群に関する FD 活動

【実施内容】

学部との連携

2026 年度においては、言語スキルを大学生生活 4 年間で育てることを目的とし、健康栄養学部管理栄養学科と連携をし、実習参加をする学生を対象としたライティング講座を 2 回実施した。

第 1 回（9 月 24 日実施）：パラグラフライティング、「学びたい理由」の書き方

第 2 回（12 月 17 日実施）：実習先へのお礼状の書き方

また、ライティングサポートデスクで、学生の作成した下書きをチェックするなどのサポートを行った。

「言語技術 I・II」内容の見直し

2025 年度前期の単位取得状況を鑑み、「言語技術 I・II」の授業目的および内容・運営を精査するための FD を実施した。本学の学生が学ぶ意欲を維持するためには、大学生活や実社会で活用できる言語スキルをこれまで以上に重視し、達成感を得られるよう授業設計するよう 2026 年度も継続的に FD 活動を行っていく。

【自己評価】

健康栄養学部との連携は、今年度も継続することができた。学部の特徴に沿ったサポートができるよう今後もヒアリングの機会を設け、サポート体制を構築していきたい。

また、「言語技術」の見直しにおいては、次年度も引き続き状況を鑑みながら進めていく。

2025 年度共通教育センターFD 活動報告書

3. 105 分授業への対応

【実施内容】

今年度より実施された授業の 105 分化について、教員から特に相談は寄せられなかったが、適切に授業運営が行われているかを確認するため、授業デザインに関する FD 活動を実施した。

今年度は 7 月にインストラクショナル・デザインの専門家を招いた対面ワークショップが実施されたため、それに合わせて 6 月のセンター内 FD では、授業デザインシートの作成ワークショップを行った。また、7 月の全学ワークショップには全員に参加してもらい、9 月には振り返りのワークショップを行った。11 月は相互訪問期間として授業を開放し、教員相互に授業運営の様子を確認した。1 月には授業の点検ワークショップを実施した。

【自己評価】

昨年度より 105 分授業への準備を行っていたため、教員・学生とも目立ったトラブルは起こらなかった。学生がどのように感じているかを把握していないため、時間の使い方などが適切かどうかは不明である。何らかの調査・分析が必要と考えられる。

4. 学習成果の可視化への対応

【実施内容】

重要科目における振り返り

科目の履修を通じて学生自身の成長を確認できるようにするために、スキル系科目を中心に学びの振り返りを促す手法を活用した。7 月のセンター内 FD においてリフレクションシート活用に関する FD を実施し、どのような効果が得られるのかななどを共有した。

学生との対話を通じた授業の改善

今年度は時間的な問題から学生・教員相互のインタビューは実施できなかった。

【自己評価】

重要科目における振り返りについては、各授業での学習成果のフィードバックとしてリフレクションシートの活用に留まったため十分な成果を挙げたとは言えなかった。本来の「学習成果の可視化」は、DP に対する到達度を基準に、学生が自己の学びの度合いを把握するというもののため、単なるフィードバックでは不十分・不適切ではないか。次年度は学習成果の可視化について、より検討を深めたい。

5. 2025 年度のセンター内 FD 活動

共通教育センター会議の後に 1～2 時間程度、FD 活動を行った。

2025 年度共通教育センターFD 活動報告書

月	テーマ	内容
4月	2024 年度の振り返り FD	前年度の授業を振り返り、今年度の授業実施に備えた。
5月	FD 計画の共有	共通教育センターとして実施予定の FD 活動について共有した。
6月	授業デザインシート作成ワークショップ	7月の全学ワークショップに向けて授業デザインシートの作成方法に関するワークショップを実施した。
7月	リフレクションシート	リフレクションシートの活用事例について学んだ。
9月	7月の授業デザイン WS 振り返り	7月の全学ワークショップの内容を振り返った。
10月	生成型 AI の活用	生成型 AI をどのように活用するか学んだ。
11月	授業の相互見学	授業相互見学期間を定め、どんな視点で見学するか共有した。
12月	UNIPA の活用	UNIPA の隠れた活用法を学んだ。
1月	点検ワークシート作成ワークショップ	授業の点検ワークシートを作成し、担当する授業の振り返りを行った。
2月	TP チャート作成ワークショップ	TP チャートを作成し、教育理念を確認した。

今年度の FD 活動を通じて、授業設計についての理解は深まったと思われる。次年度は学習者中心の学びに向けて授業改善を図っていきたい。

以上